

## 資料編

## ア これまでの取組

カモシカに係る制度的な取扱いの変遷及び本県における施策の状況を表－1として示す。

[表－1 カモシカの制度的変遷及び本県における施策の状況]

年度	内容
T14 (1925)	狩猟法改正によりカモシカの捕獲禁止
S9 (1934)	史蹟名勝天然記念物保存法により天然記念物指定
S30 (1955)	文化財保護法により特別天然記念物指定
S54 (1979)	環境庁、文化庁、林野庁による三庁合意 →天然記念物の指定を種から地域へ変更する方向へ施策転換 カモシカ保護地域の設定開始
S59 (1984)	越後・日光・三国山系地域カモシカ保護地域、関東山地カモシカ保護地域の設定
H11 (1999)	鳥獣保護法の改正により、特定鳥獣保護管理計画制度が開始
H18 (2006)	群馬県カモシカ適正管理計画(特定鳥獣保護管理計画・第一期)策定
H19 (2007)	嬭恋村において捕獲を開始
H21 (2009)	昭和村において捕獲を開始 個体数調整実施計画期間を11月～翌年10月までに設定
H22 (2010)	群馬県カモシカ保護管理計画(特定鳥獣保護管理計画・第二期)策定
H23 (2011)	片品村において捕獲を開始
H24 (2012)	沼田市利根町、中之条町において捕獲を開始
H27 (2015)	改正鳥獣保護法(鳥獣保護管理法)の施行 第一種特定鳥獣保護計画及び第二種特定鳥獣管理計画制度が開始 →群馬県カモシカ適正管理計画(第二種特定鳥獣管理計画・第二期計画)策定

## イ カモシカとシカの生物学的特性の違い

カモシカとシカの生物学的・被害形態の特性の違いを表－2として示す。

[表－2 カモシカとシカの生物学的・被害形態の特性の違い]

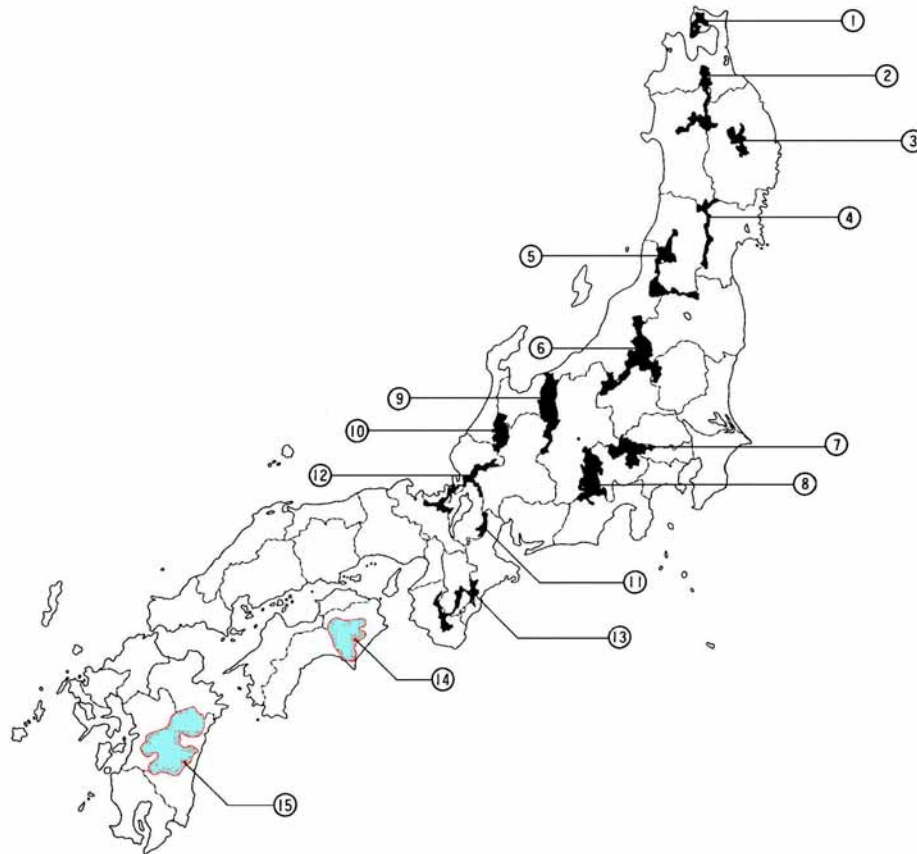
項目	カモシカ	シカ
社会	単独性（なわばりを持つ） →加害個体がある程度特定される	群れ性
密度	低い	高くなりうる
食性	ブラウザー →自然植生への影響は小さい	グレイザー →自然植生への影響が大きい
性的二型	なし →雌雄の選択的捕獲が困難	あり →雌雄の選択的捕獲は可能
繁殖	ペア型 やや低い妊娠率・長い繁殖期間 →安定的な個体群変動	ハーレム型 高い妊娠率・やや短い繁殖期間 →急激な個体群変動
被害形態	林業被害：幼齢林が対象（被害はほぼ1～2齢級に限定される） 農業被害：通常は森林に隣接した農地に限定される 生息密度が低密度であっても、被害対象となる農地等がある場所になわばりを持つ個体が存在する場合は、一定の被害が発生しうる	加害対象と加害形態は多様である 被害は密度に依存して発生する

## ウ カモシカ保護地域設定状況

### (ア) 全国の状況

全国のカモシカ保護地域の位置及び設定状況を図-1として示す。

[図-1 カモシカ保護地域設定状況]



設定が終了した地域

- |                            |                         |
|----------------------------|-------------------------|
| ① 下北半島地域 (昭和56年3月設定)       | ⑧ 南アルプス地域 (昭和55年2月設定)   |
| ② 北奥羽山系地域 (昭和59年2月設定)      | ⑨ 北アルプス地域 (昭和54年11月設定)  |
| ③ 北上山地地域 (昭和57年7月設定)       | ⑩ 白山地域 (昭和57年2月設定)      |
| ④ 南奥羽山系地域 (昭和59年11月設定)     | ⑪ 鈴鹿山地地域 (昭和58年9月設定)    |
| ⑤ 朝日・飯豊山系地域 (昭和60年3月設定)    | ⑫ 伊吹・比良山地地域 (昭和61年3月設定) |
| ⑥ 越後・日光・三国山系地域 (昭和59年5月設定) | ⑬ 紀伊山地地域 (平成元年7月設定)     |
| ⑦ 関東山地地域 (昭和59年11月設定)      |                         |

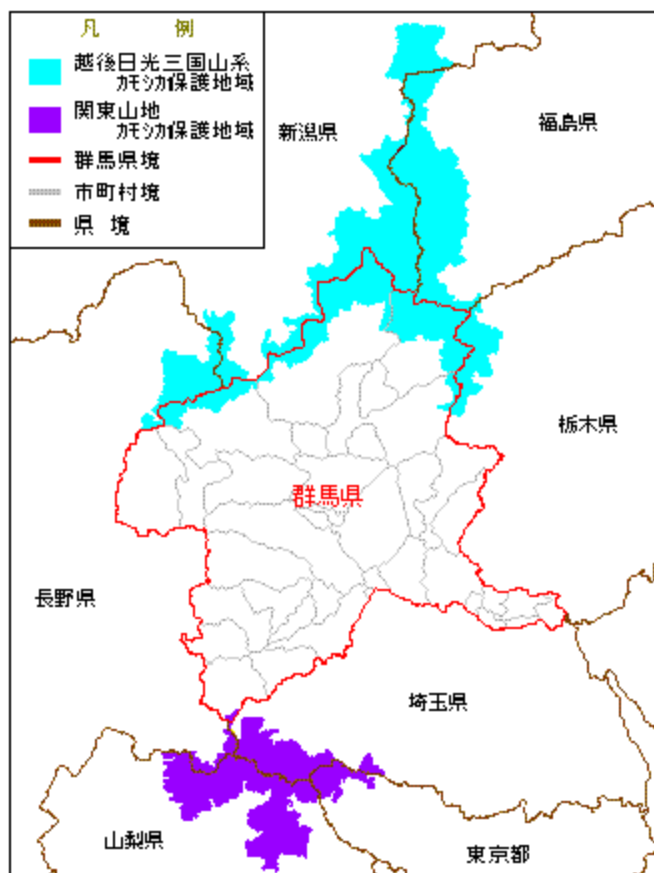
現在準備中の地域

- ⑭ 四国山地地域
- ⑮ 九州山地地域

(イ) 本県の状況

本県におけるカモシカ保護地域の設定状況及び概要を図－2及び表－3として示す。

〔図－2 本県のカモシカ保護地域の設定状況〕



〔表－3 本県のカモシカ保護地域の概要（昭和59年設定時）〕

保護地域	関係県	設定年月日	面積 (ha)	うち群馬県分 (ha)	市町村名及び面積 (ha)		保有形態
					市町村名	面積 (ha)	
越後・日光・三国山系	福島県 新潟県 長野県 栃木県 群馬県	昭和59年 5月	217,934.55	57,192.18	中之条町		
					(旧六合村)	7,435	国有林
					(旧中之条町)	1,189	国有林
					みなかみ町		
					(旧新治村)	2,487	国有林
					(旧水上町)	23,310	国有林
					片品村	21,740.18	国有林・ 民有林
沼田市							
(旧利根村)	1,031	国有林					
関東山地	東京都 埼玉県 長野県 山梨県 群馬県	昭和59年 11月	76,460	235	上野村	235	国有林

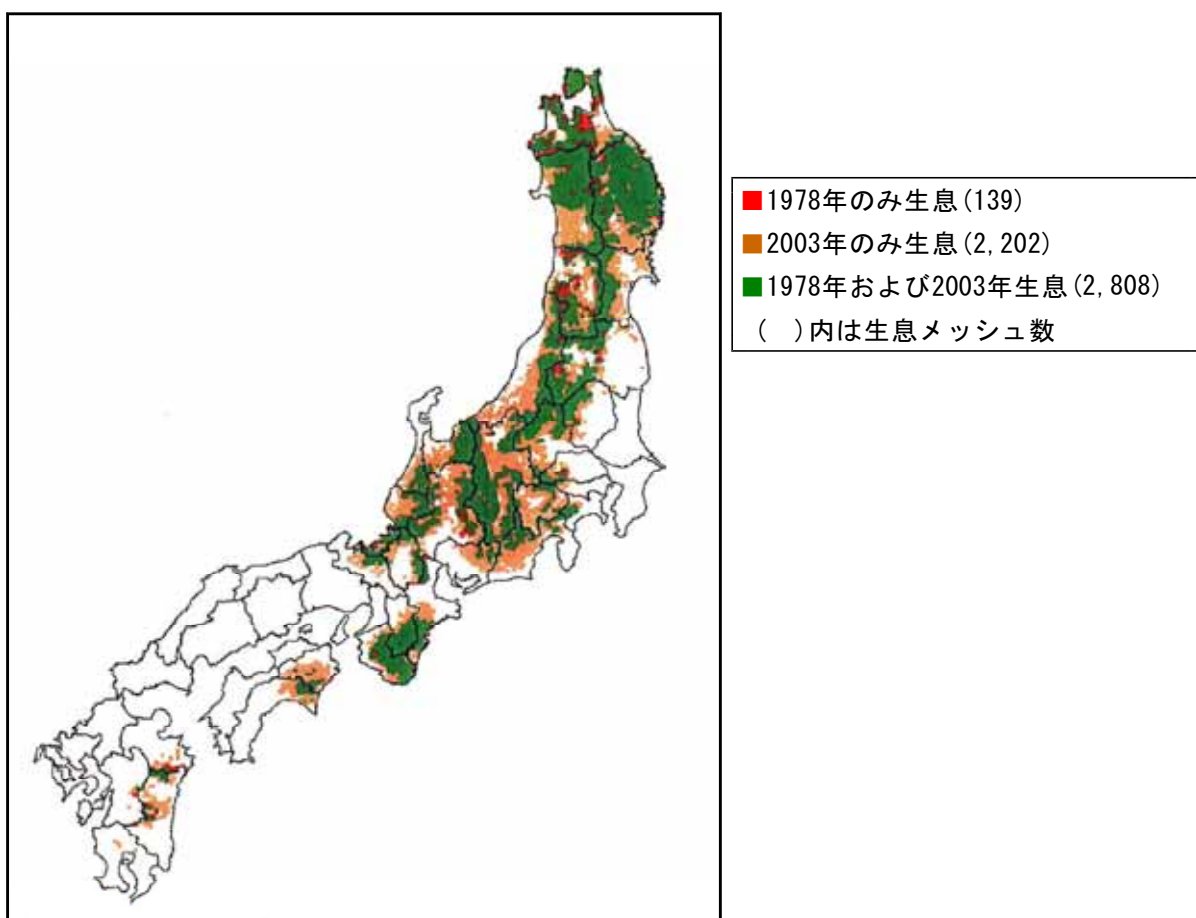
## エ 生息状況

### (ア) 生息分布域

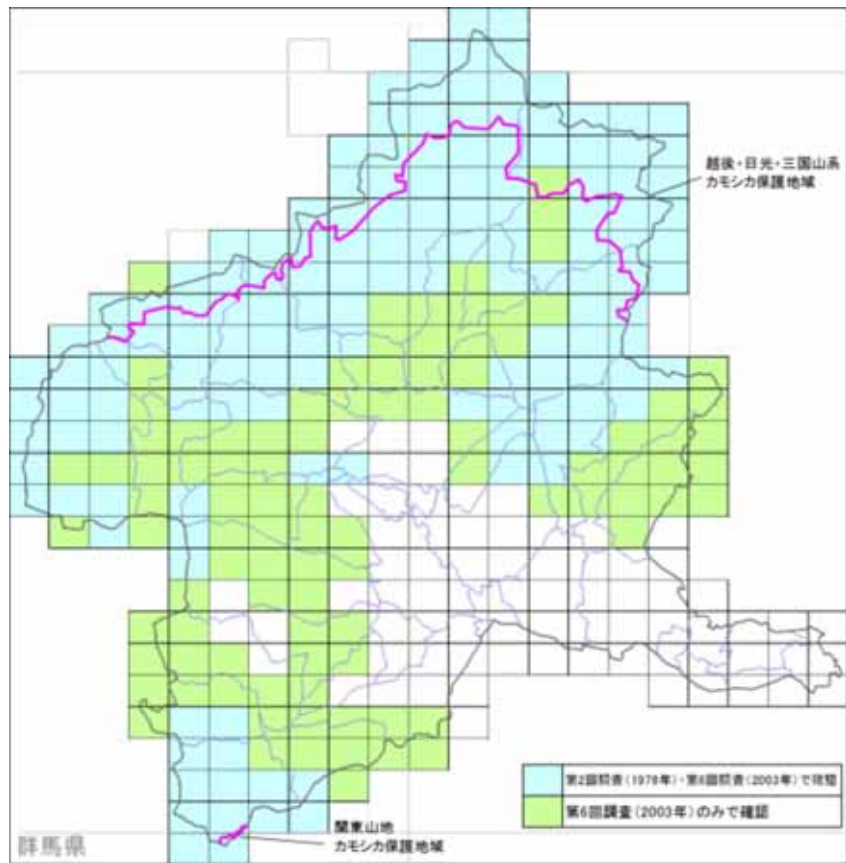
環境省が実施した第2回自然環境保全基礎調査（1978年（昭和53年）～1979年（昭和54年））では、本県の1978年（昭和53年）におけるカモシカ生息区画率は45.6%であったが、第6回自然環境保全基礎調査（1998年度（平成10年度）～2004年度（平成16年度））によると、2003年（平成15年）におけるカモシカ生息区画率は76.5%となり、25年間で30.9%増加している。

調査精度の向上も増加の一因であると考えられるが、本県の増加割合は全国平均の11.9ポイント増、関東地方平均の11.2ポイント増を大きく上回っており、単純計算で県土の約4分の3にまでカモシカの分布が広がっていることになる（図-3、図-4、表-4）。

〔図-3 カモシカ全国分布メッシュ比較図〕



[図-4 本県のカモシカの生息分布メッシュ]



[表-4 カモシカの生息区画数・生息区画率の増減]

群馬県の 総区画数	生息区画数			生息区画率		
	2003年 (2003年のみ)	1978年 (1978年のみ)	増減	2003年	1978年	増減
307	235 (95)	140 (0)	+95	76.5%	45.6%	+30.9%

(イ) **生息環境**

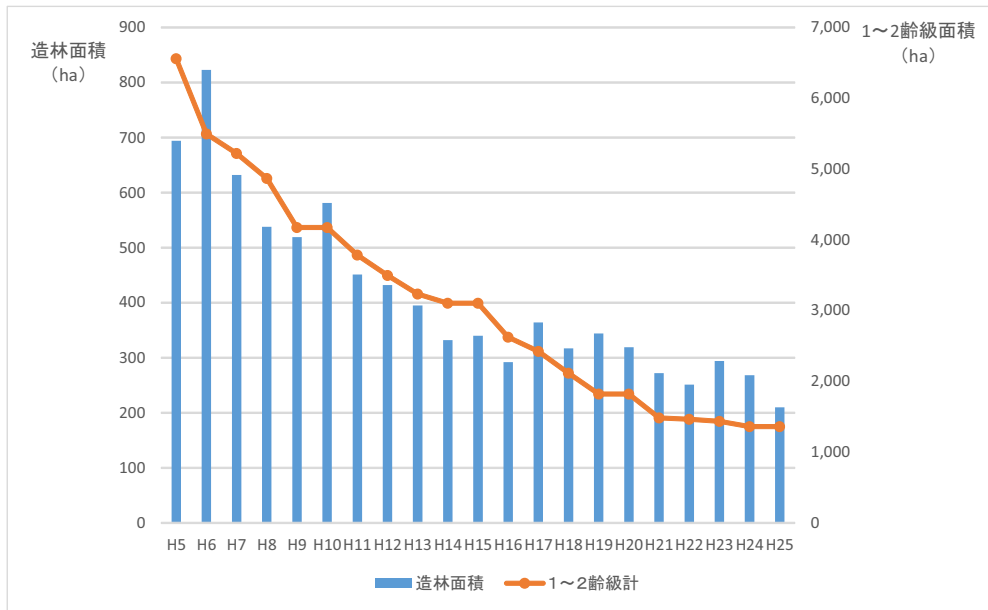
本県の県土面積（636,233ha）のうち、森林面積は424,724haであり67%を森林が占めている（表-5）。県内の造林面積は減少を続けており、近年はおよそ200haから300haで推移している。また、民有林における齢級別面積を見ると、草本類等が生育しカモシカの採餌場所となる1～2齢級の面積は少なくなっており、減少傾向が続いている（図-5、図-6）。

[表-5 森林の現況]

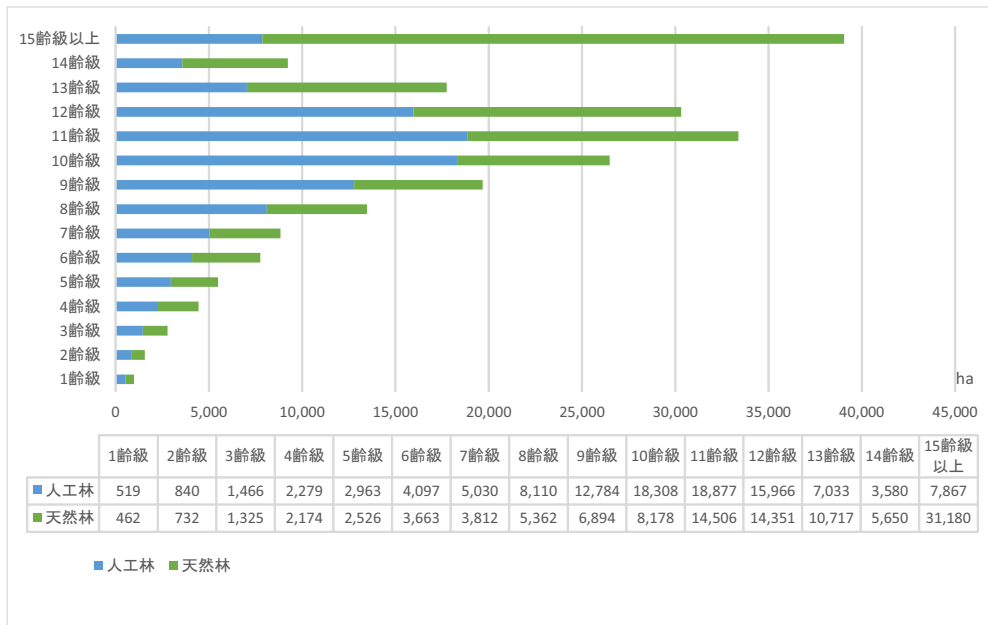
県土面積	うち森林面積	国有林		民有林		総数	
		天然林等 面積	人工林 面積	天然林等 面積	人工林 面積	天然林等 面積	人工林 面積
636,233	424,724 (森林率67%)	127,395	68,573	119,035	109,720	246,431	178,293 (人工林率42%)

(単位：ha) 平成26年4月1日現在

[図-5 造林面積及び1～2齡級面積の推移]



[図-6 民有林齡級別面積 (H26.4.1現在)]





### (ウ) 生息密度調査結果

県内では、保護地域外では区画法\*を用いて調査を行うとともに、保護地域内については県教育委員会のカモシカ保護地域特別調査によって、生息密度調査を行っている。また、婦恋村においては文化庁による食害対策調査の一環として、平成26年度及び平成27年度に区画法調査が実施されている。

平成15年以降に県内で実施された生息密度調査の結果を地域別、保護地域内外別、調査時期別に表-6から表-15に示す。あわせて、調査地点位置図を図-7に示した。図-7の地図上の数字は表-6から表-15の番号と一致する。なお、西上州地域では保護地域の面積が非常に狭いため、保護地域内と保護地域外を分けずに表に整理している。また、地域別の平均生息密度を表-16に示す。

〔表-6 利根・吾妻地域 生息密度調査結果（保護地域外・H15～17のみ調査有地点）〕

No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	H15～17			
						面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
1	大峯東	外	高崎市	区画法	H16.11	1.11	3	2.7	+
2	日蔭本庄	外	高崎市	区画法	H16.11	1.01	0	0	+
3	仙ヶ滝	外	安中市	区画法	H16.11	1.01	0	0	+
4	岩本	外	中之条町	区画法	H15.11	1.419	4	2.82	+
5	高野山	外	中之条町	区画法	H15.11	1.02	2	1.96	+
6	甘酒原下	外	東吾妻町	区画法	H16.11	1.02	2	1.96	+
7	須賀尾峠	外	東吾妻町	区画法	H15.11	0.964	0	0	+
8	大戸	外	東吾妻町	区画法	H16.11	1.02	0	0	+
9	薬師岳	外	東吾妻町	区画法	H15.11	0.901	1	1.11	+
10	王城山	外	長野原町	区画法	H15.11	0.932	4	4.29	+
11	洞口	外	長野原町	区画法	H15.11	0.91	5	5.49	+
12	木戸ヶ沢	外	長野原町	区画法	H16.11	1.01	1	0.99	+
13	茨木山	外	婦恋村	区画法	H17.11	1.02	0	0	+
14	姥ヶ原	外	婦恋村	区画法	H17.11	1.01	0	0	+
15	前口	外	草津町	区画法	H17.11	1	1	1	+
16	中ノ岳	外	高山村	区画法	H16.11	1.01	0	0	+
17	オバコ沢	外	沼田市	区画法	H15.11	1.03	1	0.97	+
18	根利牧場	外	沼田市	区画法	H17.10	1.01	0	0	-
19	不動沢	外	沼田市	区画法	H17.11	1.04	0	0	+
20	ナラ谷	外	みなかみ町	区画法	H15.11	1.135	2	1.76	+
21	一ツ岩	外	みなかみ町	区画法	H15.11	0.808	2	2.48	+
22	湯蔵山	外	みなかみ町	区画法	H15.11	1.077	11	10.21	+
23	法師の湯	外	みなかみ町	区画法	H15.11	1.013	6	5.92	+
24	大峯沼	外	みなかみ町	区画法	H16.11	1.09	1	0.92	+
平均生息密度								1.86	

〔表-7 利根・吾妻地域 生息密度調査結果（保護地域外・H18～21のみ調査有地点）〕

No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	H18～21			
						面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
25	奈良	外	沼田市	区画法	H19.11	1.01	0	0	+
平均生息密度								0.00	

\*1生息密度調査の一つで、直接目撃した個体をカウントする方法であり、カモシカを対象とした区画法は、下層植生、積雪条件、林冠木の着葉状況、地形の起伏、区画面積などの条件が適合すれば、高い精度で生息密度を推定できるが、調査地の条件のほか、偶然性に左右されることも考慮する必要がある。

[表-8 利根・吾妻地域 生息密度調査結果 (保護地域外・H24~27のみ調査有地点)]

H24~27									
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
26	四万	外	中之条町	区画法	H24.11	0.98	2	2.04	+
27	六合	外	中之条町	区画法	H24.11	1.072	1	0.93	+
28	榛名山	外	東吾妻町	区画法	H24.11	1.083	2	1.85	+
29	狩宿	外	長野原町	区画法	H24.11	1.13	0	0	-
30	門貝	○外	嬭恋村	区画法	H27.11	0.76	3	3.9	+
31	千俣	○外	嬭恋村	区画法	H27.11	0.89	2	2.2	+
32	田代湖	○外	嬭恋村	区画法	H27.11	0.87	1	1.1	+
33	大横川	○外	嬭恋村	区画法	H26.11	0.50	0	0	+
34	大沢川	○外	嬭恋村	区画法	H26.11	0.48	1~2	2.08~4.17	+
35	田代湖西	外	嬭恋村	区画法	H24.11	1.309	1	0.76	+
36	野地平	外	嬭恋村	区画法	H24.11	1.068	0	0	+
37	西俣沢南	外	片品村	区画法	H27.10	1.092	2	1.83	+
平均生息密度						1.39	~	1.57	
(平均生息密度○印地点のみ)						1.86	~	2.27	

※○印は文化庁の食害対策調査による農地周辺での調査地点

[表-9 利根・吾妻地域 生息密度調査結果 (保護地域外・H15~17及びH18~21調査有地点)]

H15~17										H18~21				
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
38	砂川	外	沼田市	区画法	H17.10	1.04	2	1.92	+	H18.11	1.04	1	0.96	+
39	笹塚山	外	片品村	区画法	H17.10	1.03	1	0.97	+	H18.11	1.03	0	0	+
平均生息密度								1.45		0.48				

[表-10 利根・吾妻地域 生息密度調査結果 (保護地域外・H15~17及びH24~27調査有地点)]

H15~17										H18~21				H24~27					
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
40	上発知	外	沼田市	区画法	H16.11	1.01	1	0.99	+						H27.11	0.995	1	1.01	+
41	田代山東	外	沼田市	区画法	H17.11	1.10	3	2.73	+	H18.11	1.1	3	2.73	+	H27.11	1.082	4	3.70	+
42	戸倉	外	片品村	区画法	H15.10	1.02	3	2.94	+	H19.11	1.02	1	0.98	+	H27.10	1.01	4	3.96	+
43	太郎北部	外	川場村	区画法	H15.11	1.12	7	6.25	+	H19.11	1.12	2	1.79	+	H27.11	0.972	3	3.09	+
44	糸之瀬	外	昭和村	区画法	H16.11	1.08	0	0	+						H27.11	0.969	1	1.03	+
平均生息密度							2.58			1.83				2.56					

[表-11 利根・吾妻地域 生息密度調査結果 (保護地域内)]

H15~17										H24~27				
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
45	相ノ倉	内	中之条町	区画法	H17.10	1.016	1	0.98	+	H24.10	1.015	0	0	+
46	野反湖	内	中之条町	区画法	H17.10	1.06	0	0	+	H24.10	1.065	0	0	-
47	ウルシ沢	内	片品村	区画法	H16.10	1.106	1	0.90	+	H24.11	0.904	1	1.11	+
48	ニゴリ沢	内	片品村	区画法	H16.10	1.013	5	4.94	+	H24.11	0.996	2	2.01	+
49	笠ヶ岳	内	片品村	区画法	H17.10	1.077	0	0	+	H25.10	1.071	1	0.93	+
50	丸沼温泉	内	片品村	定点観察法	H17.2	1.625	8.5	5.23		H25.3	1.952	1	0.51	
51	堂塚山	内	片品村	区画法	H17.10	1.04	0	0	+	H25.11	1.122	0	0	+
52	血伏山	内	片品村	区画法	H16.10	0.815	0	0	+	H25.10	0.766	0	0	+
53	至仏山	内	片品村	定点観察法	H17.5	3.571	0	0		H25.4	4.208	1	0.24	
54	唐沢山	内	片品村	区画法	H17.10	1.015	0	0	+	H25.11	1.079	0	0	+
55	富士見下山荘	内	片品村	定点観察法	H17.2	2.625	9	3.43		H25.2	2.649	1	0.38	
56	イラサワ山	内	みなかみ町	定点観察法	H17.4	1.804	4	2.22		H25.4	1.593	1	0.63	
57	西黒尾根	内	みなかみ町	区画法	H16.11	0.935	0	0	+	H24.11	0.946	0	0	+
58	谷川	内	みなかみ町	定点観察法	H17.4	3.669	12	3.27		H24.12	3.471	9	2.59	
59	平標山	内	みなかみ町	定点観察法	H17.5	2.458	2	0.81		H25.5	2.684	1	0.37	
60	蓬峠	内	みなかみ町	定点観察法	H17.5	1.454	2	1.38		H25.5	1.271	1	0.79	
61	矢木沢ダム	内	みなかみ町	定点観察法	H17.4	1.806	5	2.77		H25.4	1.254	0	0	
平均生息密度								1.53		0.56				

[表-12 桐生・足尾地域 生息密度調査結果 (H18~21のみ調査有地点)]

H18~21									
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
62	赤城白川	外	前橋市	区画法	H19.11	1.18	0	0	—
平均生息密度								0.00	

[表-13 桐生・足尾地域 生息密度調査結果 (H15~17及びH18~21調査有地点)]

H15~17										H18~21				
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
63	座間	外	みどり市	区画法	H17.11	1.13	0	0	—	H18.10	1.13	0	0	+
64	折場	外	みどり市	区画法	H17.10	1.17	0	0	—	H18.10	1.17	0	0	—
65	大岳	外	みどり市	区画法	H17.10	1.03	1	0.97	+	H19.11	1.03	3	2.91	+
66	寒戸	外	桐生市	区画法	H17.11	0.94	3	3.19	+	H19.11	0.94	5	5.32	+
67	梅田湖	外	桐生市	区画法	H17.10	1.05	0	0	—	H18.11	1.05	1	0.95	+
平均生息密度								0.83				1.84		

[表-14 西上州地域 生息密度調査結果 (H15~17のみ調査有地点)]

H15~17									
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
68	藤田峠	外	富岡市	区画法	H17.11	1.04	0	0	+
69	飯島	外	神流町	区画法	H17.11	1.08	2	1.85	+
平均生息密度								0.93	

[表-15 西上州地域 生息密度調査結果 (H15~17及びH18~21調査有地点)]

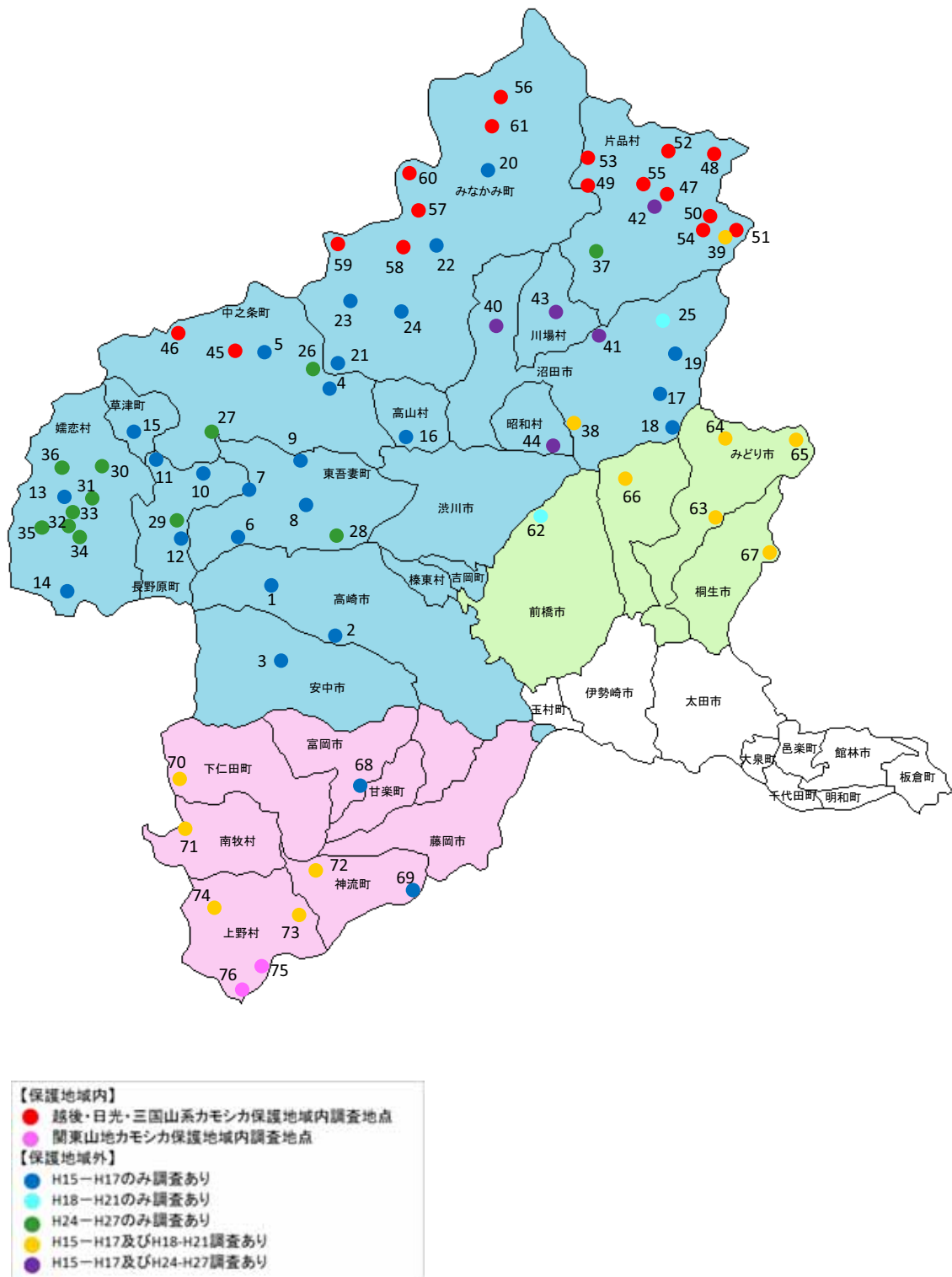
H15~17										H18~21				
No	調査地点名	保護地域	市町村	調査方法	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡	調査日	面積 (km <sup>2</sup> )	頭数	密度 (頭/km <sup>2</sup> )	痕跡
70	タラ久保沢	外	下仁田町	区画法	H17.10	0.98	0	0	—	H18.10	0.98	0	0	—
										H19.11	0.98	1	1.02	+
										H20.11	0.98	0	0	+
71	熊倉	外	南牧村	区画法	H17.10	1.23	0	0	—	H18.10	1.23	0	0	—
										H20.10	1.3	0	0	+
72	萱ノ平	外	神流町	区画法	H17.11	1.086	1	0.92	+	H20.11	1.09	1	0.92	+
73	奥名郷	外	上野村	区画法	H15.10	1.02	1	0.98	+	H19.11	1.02	0	0	+
										H20.11	1.02	1	0.98	+
74	萩沢	外	上野村	区画法	H17.10	1.04	1	0.96	+	H18.11	1.04	0	0	—
										H20.11	1.04	0	0	—
75	長戸沢	内	上野村	区画法						H20.11	0.965	0	0	
76	三国山	内	上野村	区画法						H21.11	0.735	2	2.72	+
平均生息密度								0.57				0.47		

[表-16 地域別カモシカ平均生息密度]

地域名 (個体群名)	保護地域内			保護地域外			全 域		
	平均生息密度 頭/km <sup>2</sup> ±S.D.	n	95%信頼区間	平均生息密度 頭/km <sup>2</sup> ±S.D.	n	95%信頼区間	平均生息密度 頭/km <sup>2</sup> ±S.D.	n	95%信頼区間
利根・吾妻 (上信越・南会津)	0.56 ± 0.75	17	0.17 ~ 0.95	1.73 ± 1.32	17	1.06 ~ 2.41			
桐生・足尾 (日光・足尾)				1.53 ± 2.17	6	-0.75 ~ 3.81			
西上州 (秩父・多摩)							0.47 ± 0.83	12	-0.06 ~ 1.00

※各地域の生息密度は最新の調査結果を用い、利根・吾妻地域はH24~27調査、桐生・足尾地域及び西上州地域はH18~21調査から算出した。なお、西上州地域は保護地域面積がわずかなため、全域で平均生息密度を算出した。

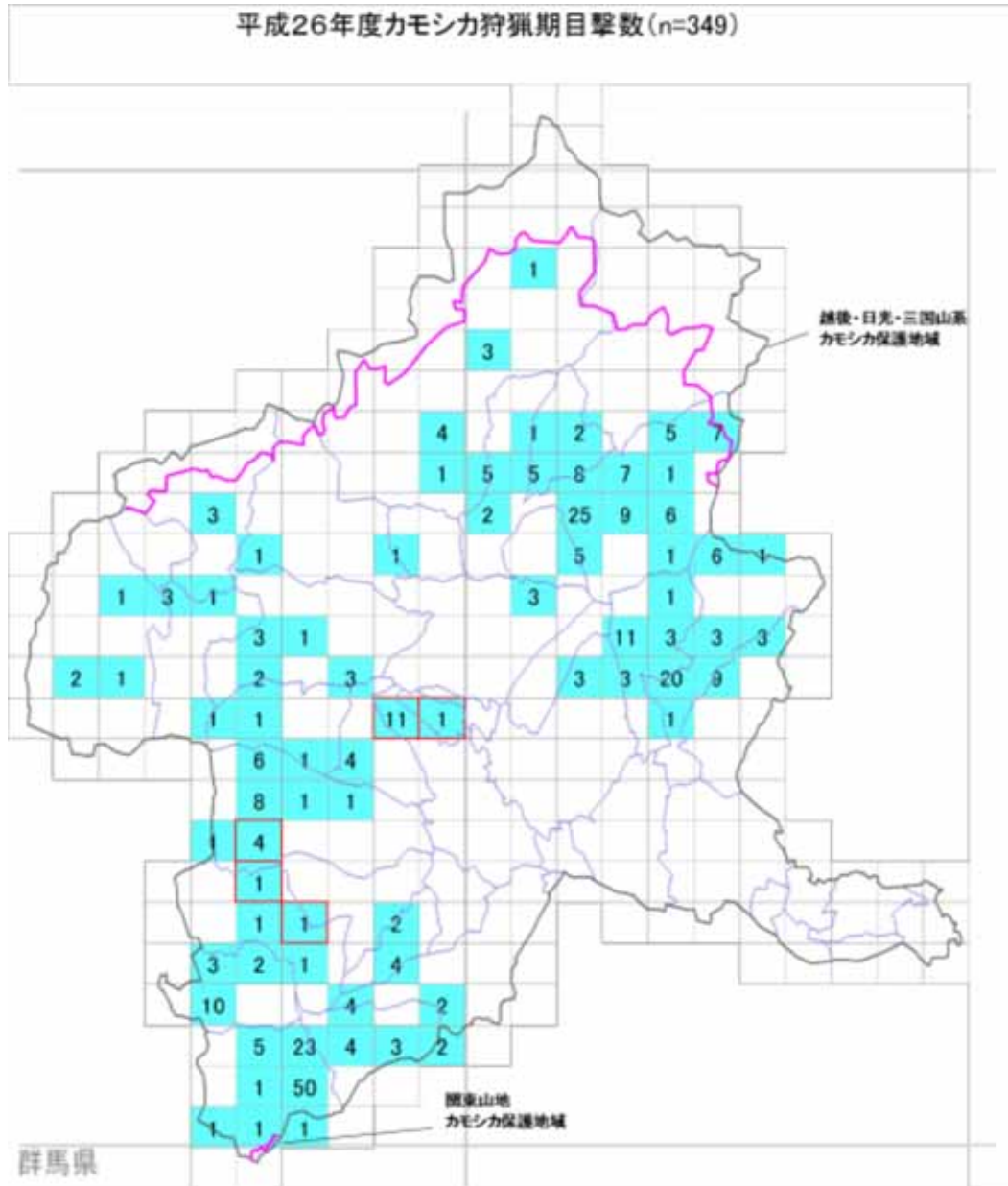
[図-7 生息密度調査地点位置図]



(エ) 狩猟報告による目撃情報

平成26年度狩猟期から狩猟の際のカモシカを目撃しているところである。今後、継続して情報の蓄積を行い、生息状況の把握に努める必要がある。

[図-8 平成26年度カモシカ狩猟期目撃数]

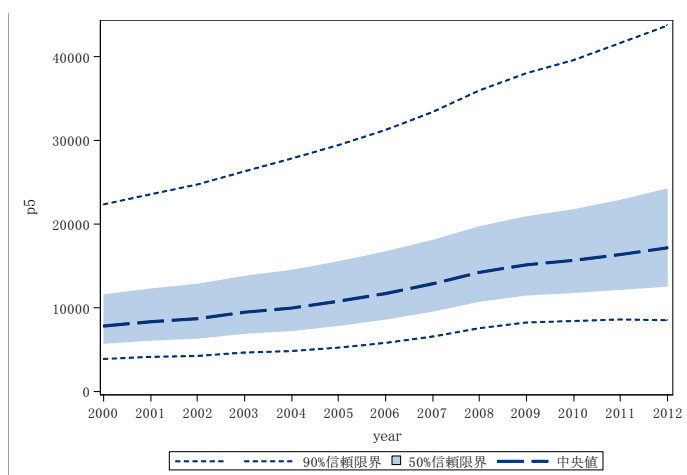


※  のメッシュは、1978年（昭和53年）の第2回自然環境保全基礎調査及び2003年（平成15年）の第6回自然環境保全基礎調査ではカモシカの生息が確認されていないメッシュ

### (オ) シカの生息状況

群馬県ニホンジカ適正管理計画(第二種特定鳥獣管理計画・第四期計画)によると、平成24年猟期前における県内のシカ推定生息頭数は、中央値17,185頭(90%信頼限界:8,536~43,724頭)と推計されている。これは、平成9年における推定生息頭数約7,600頭と比較し、14年で約2.3倍となっている。また、市町村ごとの生息頭数を推定した結果、平成24年猟期前における生息数の中央値(90%信頼限界)では、南牧村、みどり市、上野村、沼田市、片品村の順で高くなっている。分布の中心は、県南西部及び県北東部であるが、近年の気象等の変化や生息密度増加等の影響により、県境から県中央部へと分布拡大している。(図-9~図-10)

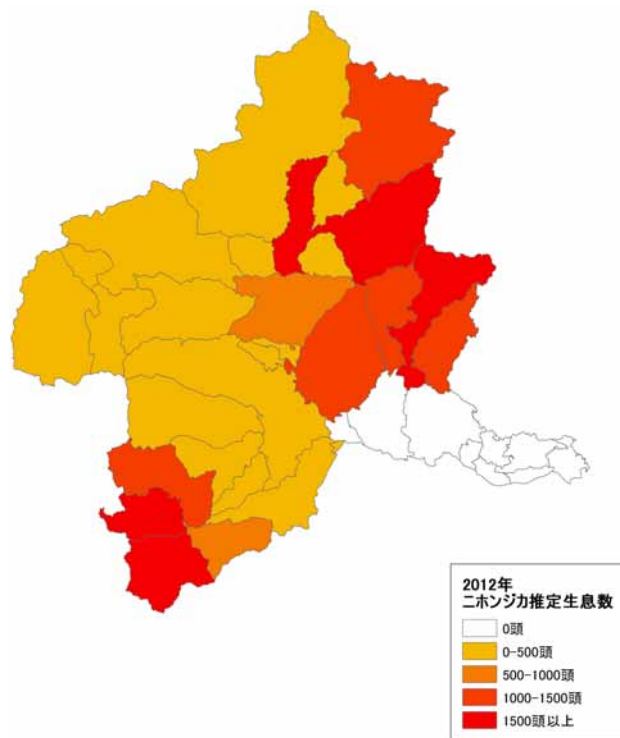
[図-9 群馬県のシカ推定生息数の推移結果]



[表-17 群馬県のシカ推定生息数の推移結果 (H12~H24)]

西暦	年度	信頼下限		中央値	信頼上限	
		90%	50%		50%	90%
2000	H12	3916.2	5725.8	7851.1	11623.8	22363.8
2001	H13	4164	6088.6	8356	12317.8	23569.3
2002	H14	4274.2	6337.4	8731.8	12903.9	24749.7
2003	H15	4685.3	6902	9486.6	13837.9	26319.2
2004	H16	4859.4	7239.5	9987.3	14563.6	27838.7
2005	H17	5268.4	7851.4	10809.6	15591.8	29452.3
2006	H18	5831.6	8606	11722.9	16770.7	31256.4
2007	H19	6588.3	9551.1	12884.3	18130.4	33399.6
2008	H20	7592.2	10744.5	14253.8	19761.3	35981.2
2009	H21	8267.1	11486	15161.3	20949.8	38041.4
2010	H22	8444.3	11795.7	15682.6	21786.3	39592.2
2011	H23	8630.6	12164.1	16380.6	22925.4	41651.7
2012	H24	8537.5	12539.5	17185	24271.5	43724

〔図－10 シカの市町村別推定生息数（H24年猟期前）〕

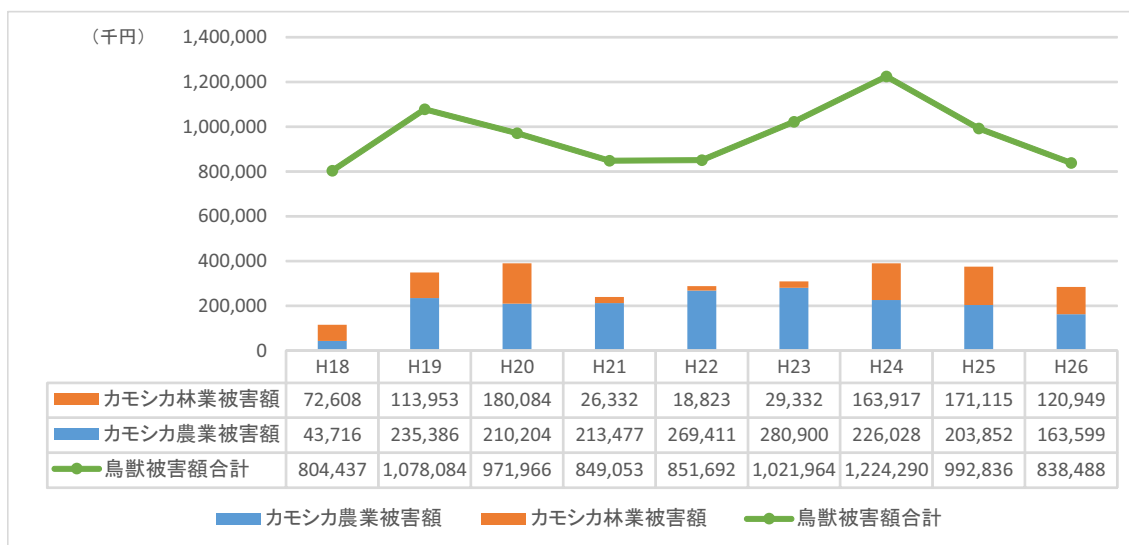


## オ 被害状況

### (ア) 農林業被害の概要

平成19年度以降、カモシカによる農林業被害額は、県内の野生鳥獣による農林業被害額に対して3割から4割程度を占めている。特に、農業被害は2億円を超える高水準の被害が継続して発生していたが、広域的な防護柵の設置による被害対策が進んだことなどから、平成26年度においては8年ぶりに農業被害額が2億円を切った。林業被害額については、年によって増減の幅が大きくなっている（図－11）。

〔図－11 カモシカによる農林業被害額の推移〕



また、過去10年に農林業被害が発生している市町村を図－12に示す。利根吾妻地域を中心に農業被害・林業被害がともに発生しているほか、桐生・みどりや県南西部にも被害が発生している。

〔図－12 農林業被害の発生市町村（過去10年）〕



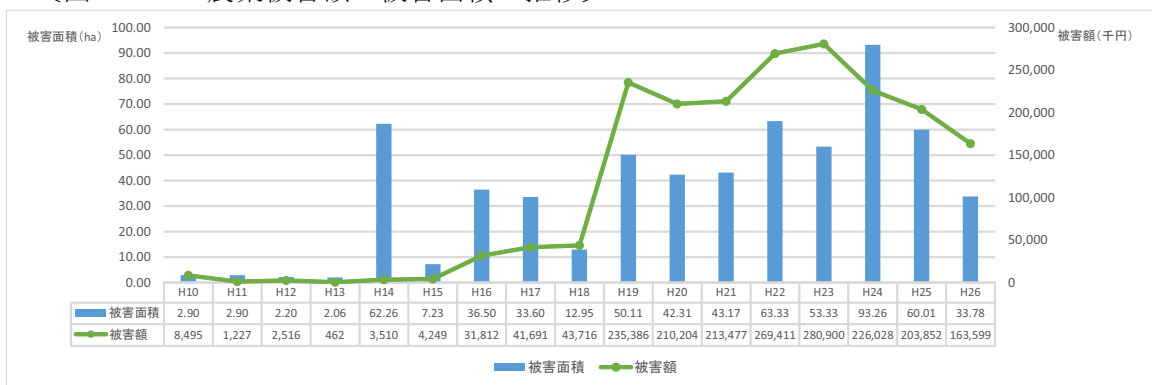


## (イ) 農業被害

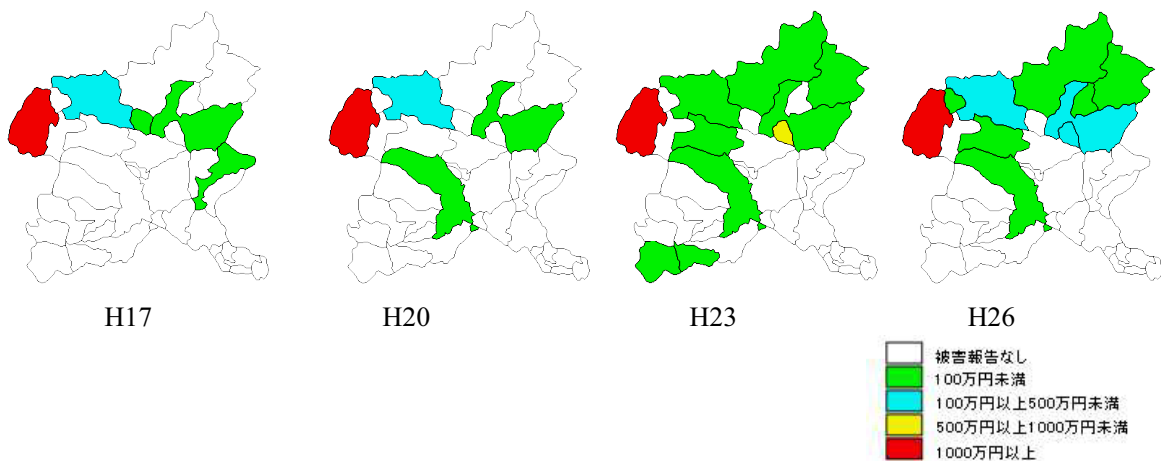
平成10年度からの農業被害の推移を見ると、農業被害額は平成19年度から急激に増加し、以降2億円を超える被害を出していたが、平成23年度にピークを迎えて以降、近年は減少傾向にあり平成26年度には、8年ぶりに被害額が2億円を切った。なお、被害額はほぼ被害面積と比例して増減している（図－13）。また、平成17年度には吾妻地域や利根沼田地域の一部市町村のみが主な被害地域であったが、被害地域は拡大傾向にあり、現在は、吾妻地域や利根沼田地域のほぼ全域のほか、県南西部の一部にも被害が見られる。被害額では嬭恋村の被害額が他の市町村と比較して大きい（図－14）。

被害金額ベースでは、野菜への被害が約99%を占めて圧倒的に多く、その他は豆類、いも類、果樹、工芸作物などへの被害である（表－18）。

〔図－13 農業被害額・被害面積の推移〕



〔図－14 市町村別農業被害の分布推移〕



[表-18 市町村別・農作物別被害金額]

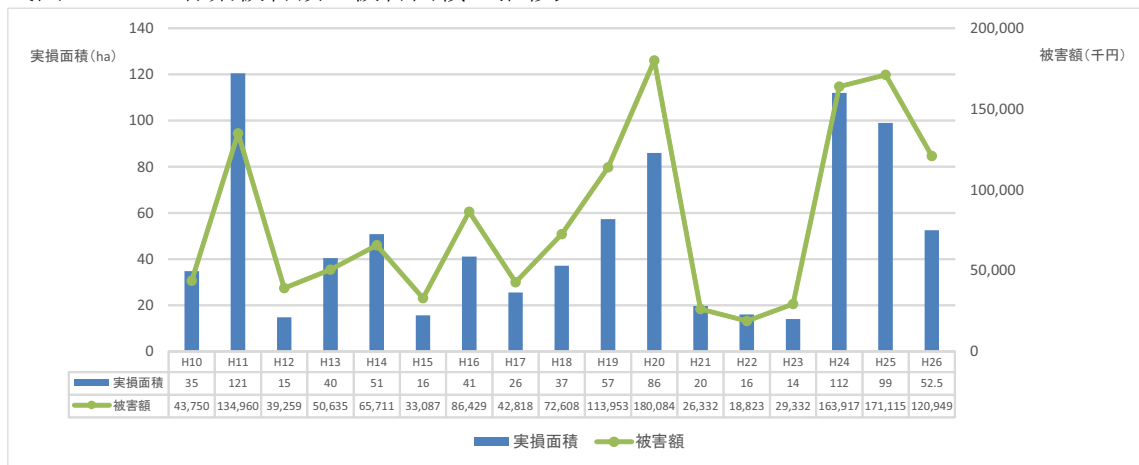
市町村名	農作物名	年度/被害金額(千円)																			総計
		10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26			
高崎市	野菜																				
高崎市(旧倉瀬村)																					
高崎市 集計																					
上野村	豆類																				
上野村 集計	豆類																				
神流町	野菜																				
神流町 集計																					
中之条町	野菜																				
中之条町(旧六合村)	野菜																				
中之条町 集計																					
嬭恋村	野菜																				
嬭恋村 集計																					
草津町	野菜																				
草津町 集計																					
高山村	野菜																				
高山村 集計																					
東吾妻町	野菜																				
東吾妻町 集計																					
沼田市	野菜																				
沼田市(旧利根村)	野菜																				
沼田市(旧白沢村)	野菜																				
沼田市 集計																					
片品村	野菜																				
片品村 集計																					
川場村	果樹																				
川場村 集計																					
昭和村	野菜																				
昭和村 集計																					
みなかみ町	果樹																				
みなかみ町 集計																					
みどり市(旧勢多東村)	野菜																				
みどり市 集計																					
総計	野菜																				
	豆類																				
	いも類																				
	工業作物																				
	果樹																				
	雑穀																				
	飼料作物																				
	稲																				
	麦類																				
	その他																				
	計																				

## (ウ) 林業被害

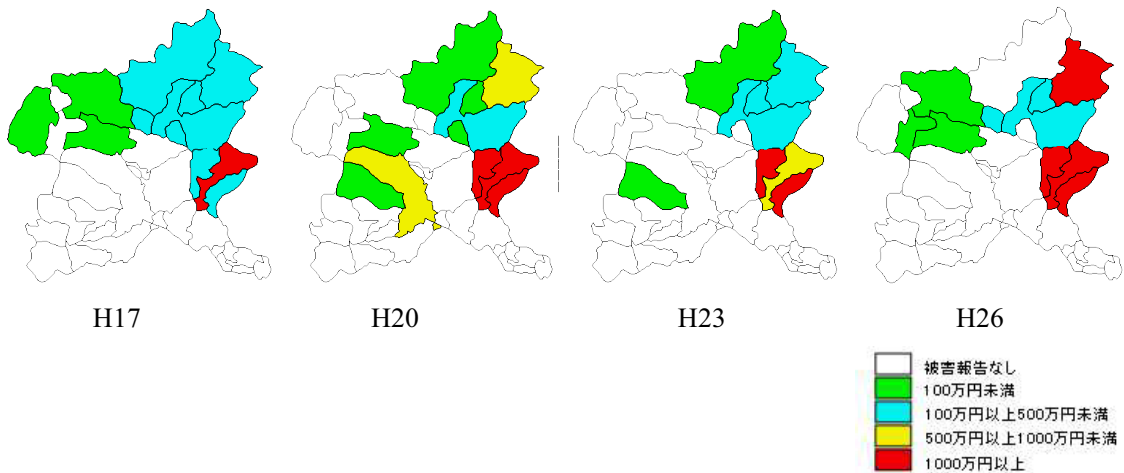
平成10年度からの林業被害の推移を見ると、林業被害額は平成11年度に1億円を超え、その後は増減を繰り返しているが、平成24年度からは1億円を超える被害額が発生している。被害額は被害面積と比例して増減している傾向が見て取れる（図－15）。また、被害発生市町村は年度によってバラツキがあるが、桐生・みどり地域と利根沼田地域では恒常的に被害が発生しており、特に桐生・みどり地域の被害額が大きくなっている（図－16）。

被害は植栽直後の1～2齢級の幼齢林で多く発生しており、下刈り等の保育作業と並行した対策の実施が必要である（図－17）。

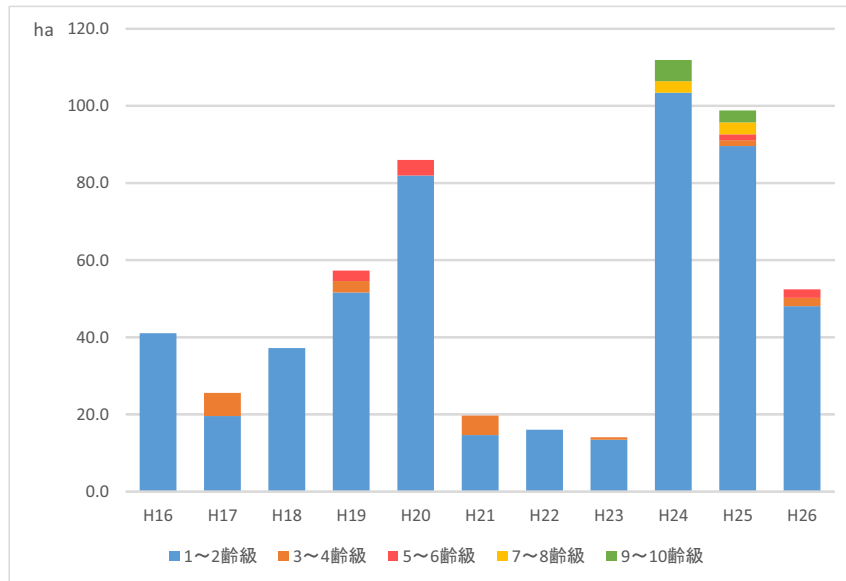
〔図－15 林業被害額・被害面積の推移〕



〔図－16 市町村別林業被害の分布推移〕



[図－17 年齢別林業被害実損面積の推移]



(エ) 人身被害等

県内のカモシカによる人身被害等の発生状況を表－19に示す。その他、市町村には住宅街付近での目撃情報や威嚇された事例などが報告されているが、明確な統計としての記録はない。

[表－19 人身被害等の発生状況]

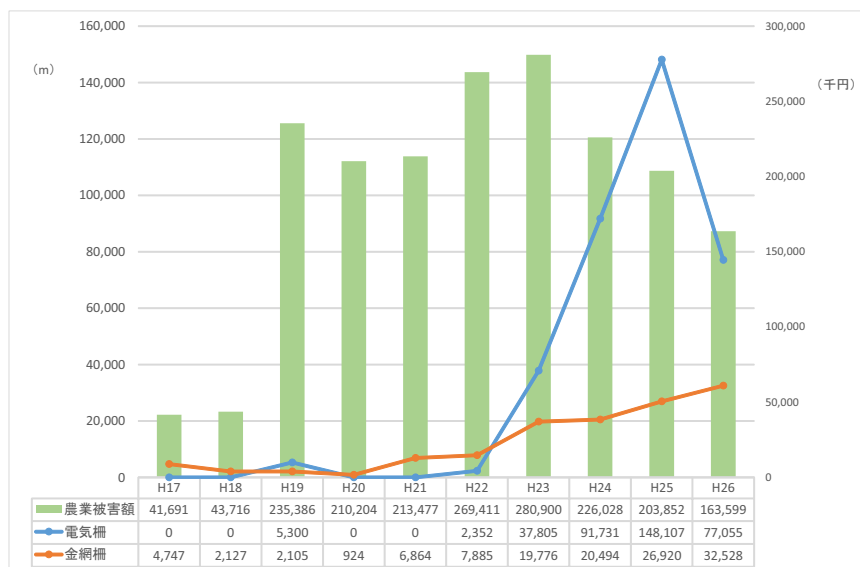
発生日	地域	内容
H20.5	桐生市新里町	ゴルフ場に居座り、客及び従業員を威嚇
H21.2.3	みどり市東町	70歳の女性が突き飛ばされた
H22.5.13	高崎市箕郷町	金型工場内に侵入し、従業員を威嚇
H25.5.21	前橋市天川大島町	企業事務所内に侵入しガラスを破壊
H25.8.18	桐生市黒保根町	農作業中の女性が襲われ負傷

## カ 防除対策の状況

### (ア) 防護柵設置実績(農業被害対策)

シカ対策を含めた農地への侵入防止柵の設置は、各種補助事業を活用し平成23年度頃から普及が進んでいる。特に、大規模農地である婦恋村を始めとし、沼田市や昭和村などで設置が進んでいる。カモシカ・シカ対策として設置された侵入防止柵の実績は、図－18のとおりであり、平成26年度までの整備実績の総延長は、約486kmに及んでいる。

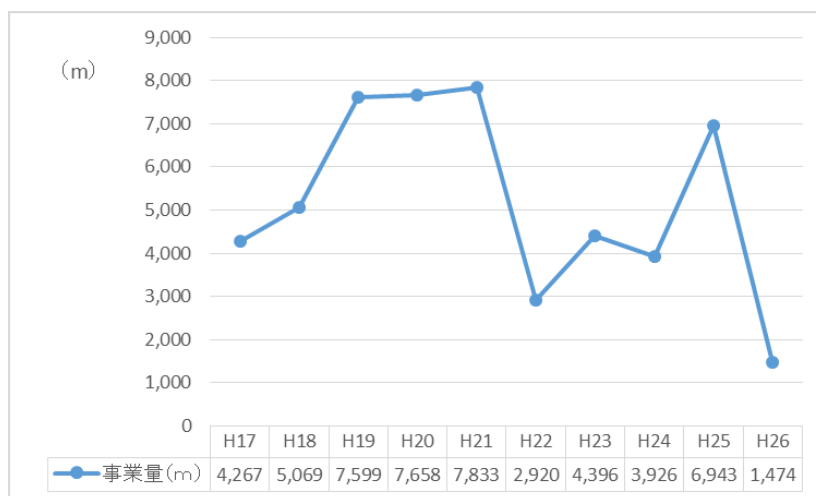
〔図－18 県内の農業被害対策に係る侵入防止柵設置状況（国庫・県単分）〕



### (イ) 防護柵・食害防止資材設置状況(林業被害対策)

林業被害対策の物理的防除としては、防護柵の設置や食害防止チューブなどの食害防止資材の設置が実施されている。カモシカ・シカ対策として設置された侵入防止柵の実績は、図－19のとおりである。また、食害防止チューブは、平成17年度以降では平成24年度に4.8haで設置されている。

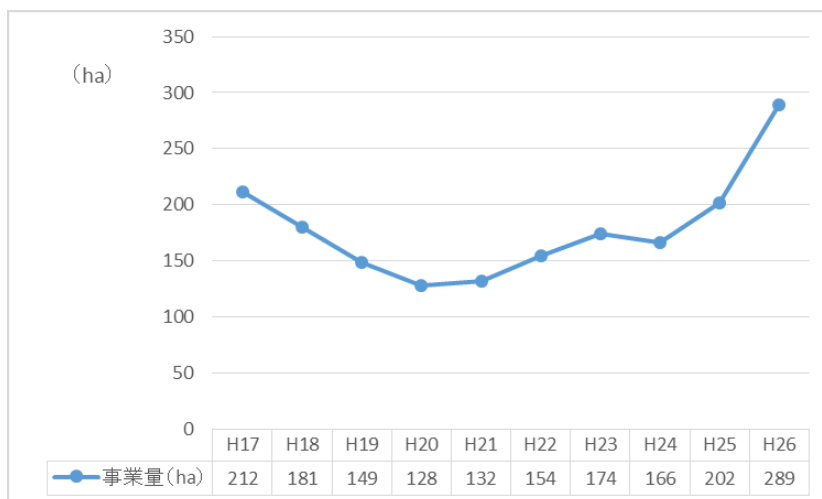
〔図－19 県内の林業被害対策に係る侵入防止柵設置状況（林政課）〕



### (ウ) 忌避剤散布等実績

林業被害対策の化学的防除としては、忌避剤散布が実施されている。忌避剤散布による防除は、小面積の造林地での対策に適しているが、有効期間は3～6ヶ月であり年1回の散布が必要である。カモシカ・シカ対策としての忌避剤散布実績は、図－20のとおりである。

〔図－20 県内の林業被害対策に係る忌避剤散布状況（林政課）〕



## キ 捕獲状況

### (ア) 捕獲頭数

本県では農業被害対策として、平成19年からカモシカの捕獲を開始している。平成19年に孺恋村で始まった捕獲は、現在5市町村において実施実績があり、合計312頭が捕獲されている（平成26年度計画分まで）。なお、平成21年度計画分から被害発生時期における捕獲を可能とするため、従来、年度末までとしていた計画期間を翌年10月までとした。

〔表－20 カモシカ捕獲頭数の推移〕

年度 市町村	H19計画 (H19.11～ H20.3)		H20計画 (H20.11～ H21.3)		H21計画 (H21.11～ H22.10)		H22計画 (H22.11～ H23.10)		H23計画 (H23.11～ H24.10)		H24計画 (H24.11～ H25.10)		H25計画 (H25.11～ H26.10)		H26計画 (H26.11～ H27.10)		合計
	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	計画数	捕獲数	
孺恋村	10	10 (6)	9	9 (2)	9	9 (4)	20	20 (7)	30	29 (13)	25	25 (10)	20	20 (13)	27	17 (6)	139 (61)
昭和村	—	—	—	—	7	7 (5)	15	15 (5)	15	15 (6)	30	30 (12)	20	20 (13)	20	7 (4)	94 (45)
片品村	—	—	—	—	—	—	—	—	8	8 (4)	16	16 (7)	22	20 (10)	16	16 (9)	60 (30)
沼田市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5	5 (2)	9	5 (2)	9	6 (5)	16 (9)
中之条町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	3 (1)	7	0 (0)	3	0 (0)	3 (1)
合計	10	10 (6)	9	9 (2)	16	16 (9)	35	35 (12)	53	52 (23)	84	79 (32)	78	65 (38)	75	46 (24)	312 (146)

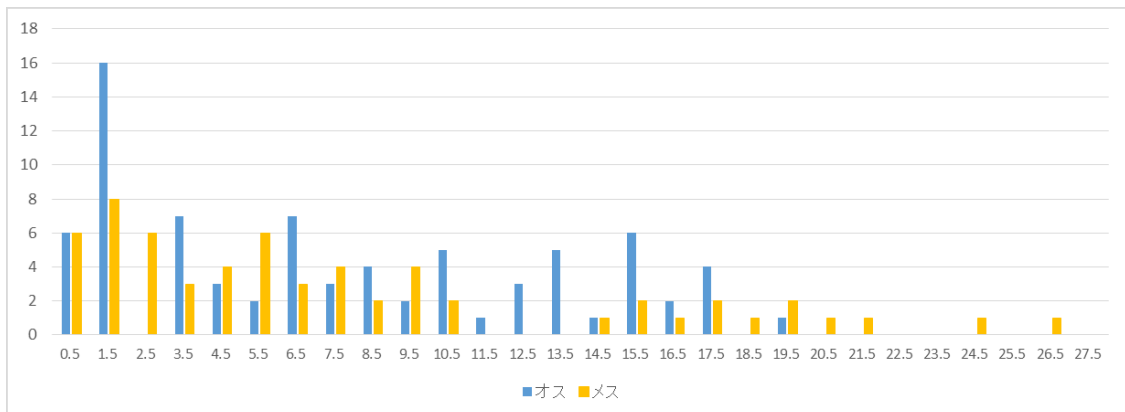
※（ ）内はメス頭数で内数

### (イ) 捕獲個体の状況

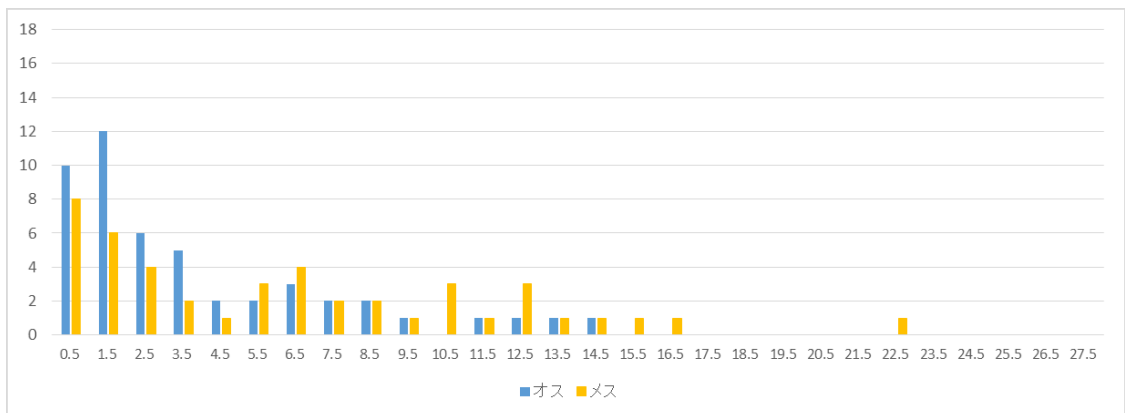
捕獲個体については、市町村において体長、体重等を測定した後、自然史博物館へサンプルを送付し、年齢査定、妊娠状況及び食性の分析を実施している。管理捕獲を実施している市町村ごとの捕獲個体の年齢は、図-21～図-25のとおりである。また、分析が可能であった2.5歳以上のメスの妊娠率の推移を図-26に示す。最も早くから捕獲を実施している孺恋村では一時妊娠率が低下したが、再び上昇傾向にある。

なお、集計は計画年度（10月～翌11月）によって行った。

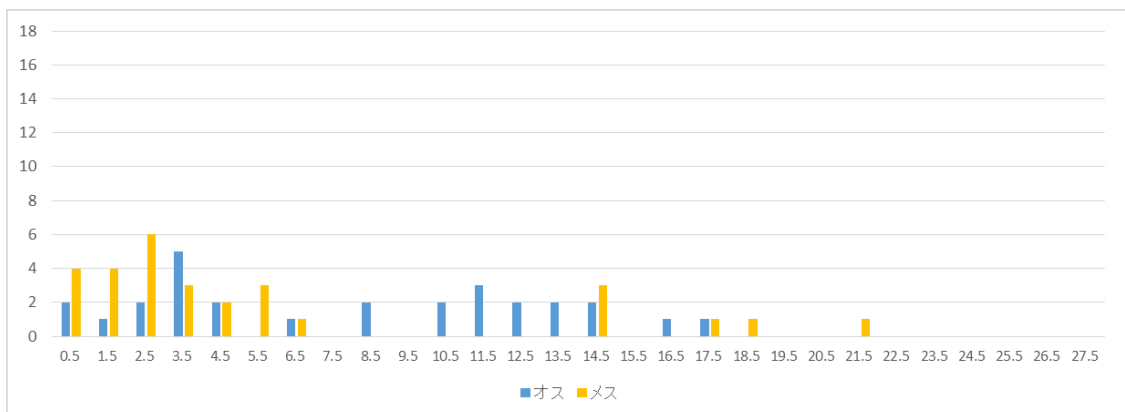
〔図-21 捕獲個体の年齢（孺恋村） 平成19年度～平成26年度〕



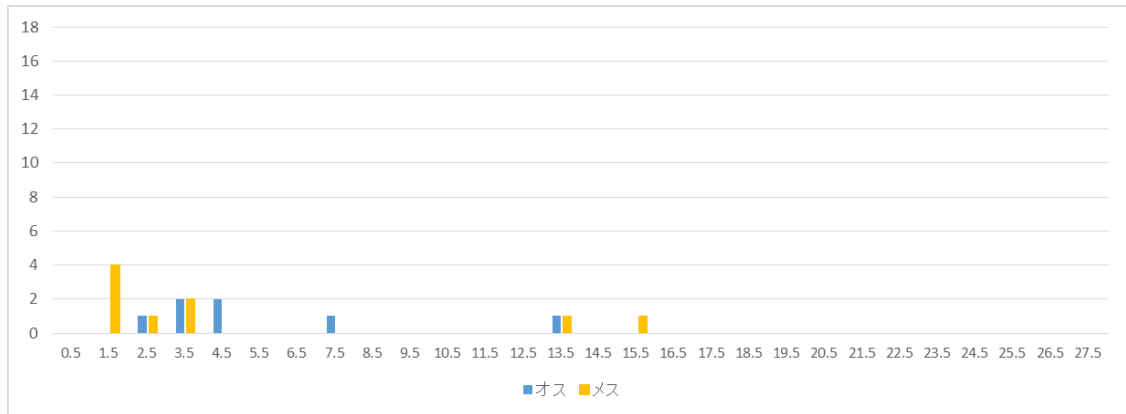
〔図-22 捕獲個体の年齢（昭和村）平成21年度～平成26年度〕



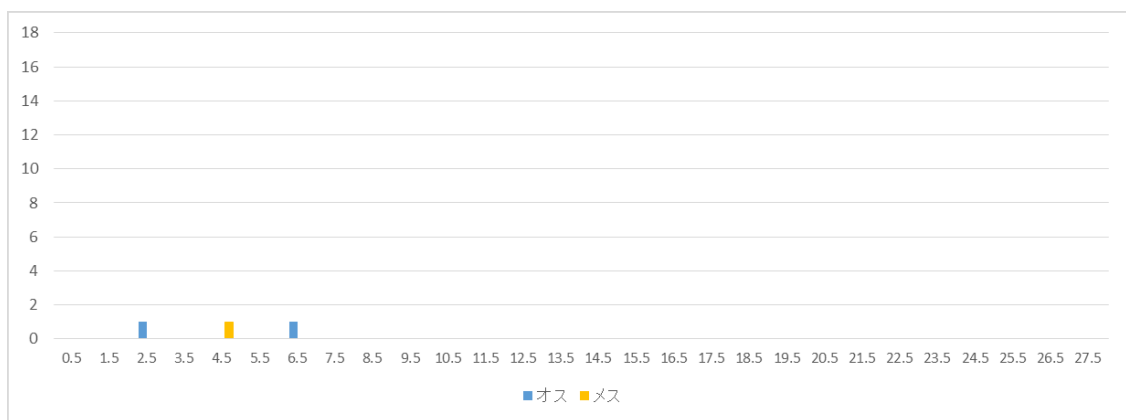
〔図-23 捕獲個体の年齢（片品村）平成23年度～平成26年度〕



〔図－24 捕獲個体の年齢（沼田市利根町）平成24年度～平成26年度〕



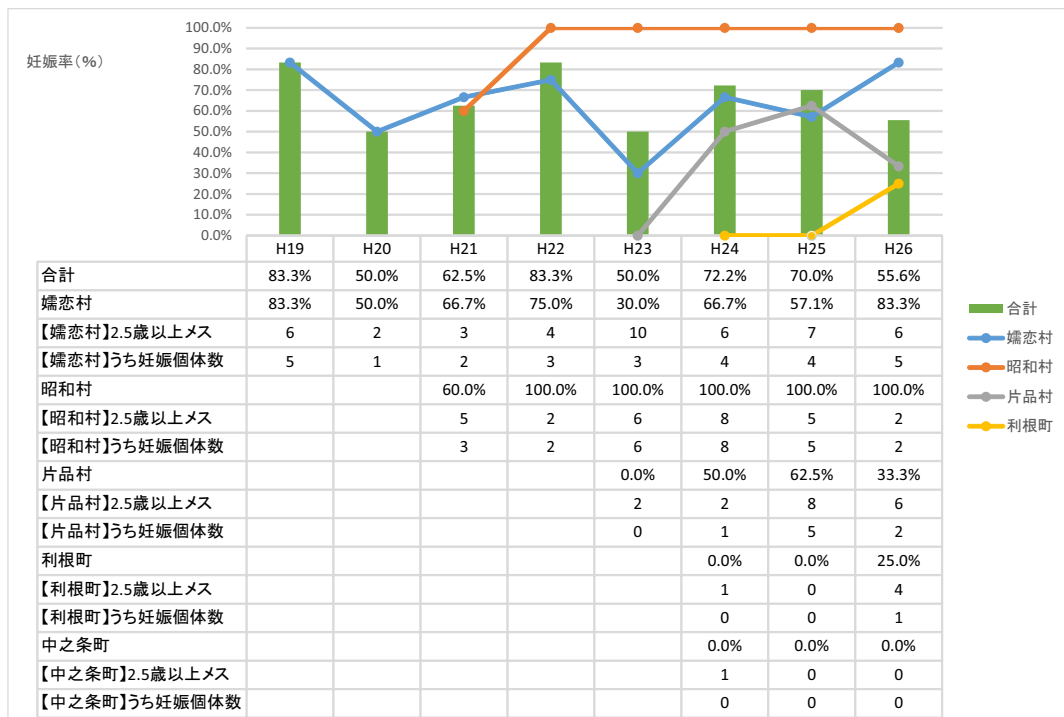
〔図－25 捕獲個体の年齢構成の推移（中之条町）平成24年度～平成26年度〕



※平成25～26年度は捕獲実績なし

〔図－26 捕獲個体の妊娠率の推移（2.5歳以上のメス）〕

※2.5歳以上のメスで分析可能な個体のみ集計

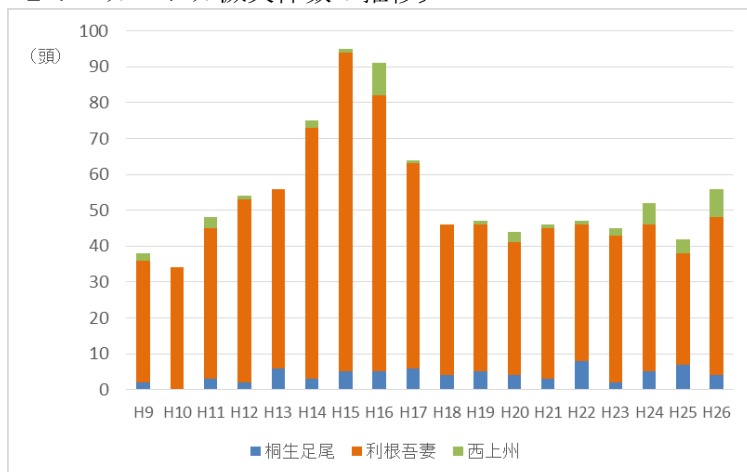




## ク 滅失状況

平成9年度以降の滅失件数の推移を図-27及び表-21に示す。平成15年度をピークに増加傾向であったが、以降は減少しており近年は50頭前後となっている。地域別では、利根吾妻地域における滅失件数が全体の8割程度を占めている。また、平成9年度以降の滅失件数の累計を図-28に、平成22年度以降のカモシカ滅失個体の死因を図-29に示す。

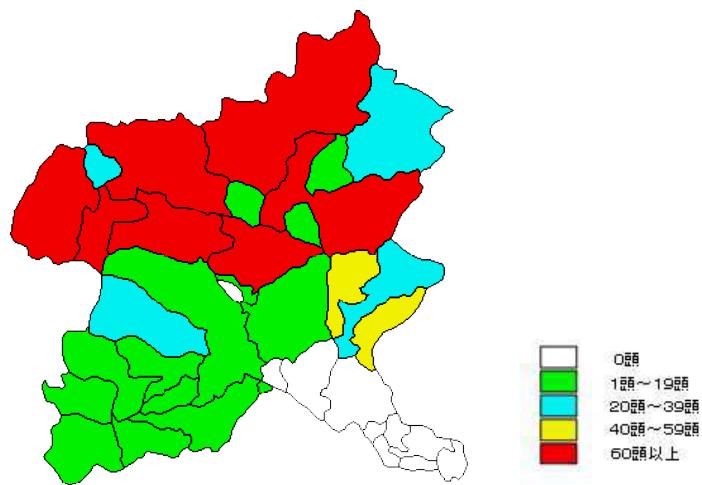
[図-27 カモシカ滅失件数の推移]



[表-21 市町村別滅失件数]

市町村名	地域	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
高崎市	利根吾妻						1							1	2		1		1
沼田市	利根吾妻	2	1	3	4	5	3	3	10	9		6	3	7	4	7	3	2	8
渋川市	利根吾妻				2	4	5	6	10	5	6	4	2	1	4	4	4	4	5
安中市	利根吾妻	1					1		3		1				2	2	3	2	5
榛東村	利根吾妻																		
吉岡町	利根吾妻													1	1				
中之条町	利根吾妻	8	10	11	16	22	26	28	16	7	12	7	6	10	10	6	7	5	9
東吾妻町	利根吾妻	6	7	15	4	5	7	14	5	7	8	8	7	7	3	1	3	3	4
長野原町	利根吾妻	6	7	4	7	5	7	15	9	5	5	3	6	3	5	4	4	3	9
嬭恋村	利根吾妻	5	5	1	2	1	4	5	3	8	2	6	6	3	2	7	5	7	4
草津町	利根吾妻	1	1	2	7	2	2	5	2	2	1	2	2	1	2	3	3		
高山村	利根吾妻				2		1	2	5	2					1		1	1	
片品村	利根吾妻			1	3		2	1	1		1		2	2	3	2	6	3	
川場村	利根吾妻			1	1			1		3	1		1						
みなかみ町	利根吾妻	4	3	4	3	5	9	9	11	9	3	2	1	5		4	1		
昭和村	利根吾妻	1				1	2		2			3			1		1		
前橋市	桐生足尾			1		1	1	2	1							1			
桐生市	桐生足尾	2		2	2	5	1	2	2	4	3	4	1	2	2		4	5	1
みどり市	桐生足尾						1	1	2	2	1	1	3	1	6	1	1	2	3
藤岡市	西上州																	1	1
富岡市	西上州																2		
神流町	西上州								1										
上野村	西上州	1		3	1		2	1	7	1							2		
下仁田町	西上州								1				3	1	1	2		3	5
南牧村	西上州	1										1					1		1
甘楽町	西上州																	1	1
伊勢崎市	—																		
太田市	—																		
館林市	—																		
玉村町	—																		
板倉町	—																		
明和町	—																		
千代田町	—																		
大泉町	—																		
邑楽町	—																		
合計		38	34	48	54	56	75	95	91	64	46	47	44	46	47	45	52	42	56

[図－28 カモシカ滅失累計数（平成9年度～平成26年度）]



[図－29 カモシカ滅失個体の死因（平成22年度～平成26年度）]

